

「大学を身近に感じた」シブコン 全国62会場で1,560名が参加

「地域別ご父母・保護者の会」として親しまれている支部懇談会（シブコン）が、7月27日（日）から9月7日（日）まで、全国67支部・62会場で開かれました。今年は延べ1,560名のご父母・保護者の皆様にご参加いただきました。

会場では、学業や学生生活、就職活動についての教職員による講演、学生のキャンパスライフを紹介する映像上映、歓談しながらの昼食、個人面談やグループ面談など、充実したプログラムが行われました。さらに、各支部ごとの工夫を凝らした企画も加わり、終始なごやかな雰囲気に包まれました。

参加された方からは「専修大学を身近に感じられた」「疑問や不安が解消できた」といった声が多く寄せられています。会場の様子をお届けします。



↑ 学業について経済学部徐一睿教授が講演

8月24日（日）、宇都宮市のホテルニューイタヤで開催された栃木支部の支部懇談会には、35名のご父母・保護者が参加しました。

学業や学生生活に関する講演に続き、栃木支部独自の企画として、商学部の国田清志教授による会計学のミニ模擬授業が行われました。誰もが知る企業のビジネスモデルを例に、各企業がどのような顧客をターゲットとして、どんな戦略で収益を上げているのかを紹介。近くに座った者同士で意見を交わしながら進めるワークショップ形式で、参加者は学生気分を味わった様子でした。

続いて、人間科学部の大久保街亜教授による特別講演「なぜ人は見た目に騙されるか」が実施されました。ニュースでも話題の特殊詐欺を取り上げ、なぜ高齢者が狙われるのかを、実験データをもとに若者と高齢者の「騙されやすさ」の違いから解説。参加者は身近で興味深い内容に熱心に耳を傾けていました。

その後は学部ごとのテーブルに分かれ、教職員を交えてのランチタイム。同じ大学に通う子を持つ親同士、自然と話が弾みます。さらには、個別面談・グループ面談も行われ、参加者にとって充実した一日となったようです。

静岡(東部)支部



↑ 出張教職員、支部役員と一緒に



↑ 個人面談

地元愛、静岡愛たっぷりのシブコン

副会長
池田歌子

沼津駅から3分ほどの会場で行われた静岡(東部)支部の支部懇談会に、教職員5人と私で参加させていただきました。

大学教職員から「学業」「学生生活」「就職」について、その後、大学生のお子さんをもつ専大OBから地元静岡で働くよさを、県職員の方から静岡県での就職について、また3月に卒業し地元で就職したフレッシュなOBからの講話と、就職関係の話に多く時間を使っており、参加者は熱心にメモを取りながら聴いていらっしゃいました。

東部支部の役員さんは皆さん笑顔がステキでとても

協力的。お父さんの役員参加率が高く、力仕事や高所作業などで大活躍。お母さんたちもそれぞれの役割で活躍されていました。

新しい仲間を迎えるためにチラシを作り、積極的に声をかけ、同じ地域から我が子を送り出している仲間として支部活動を進めていらっしゃるのがよくわかりました。支部活動として、生田キャンパス見学会にも参加されるようです。

地元沼津のホテルから取り寄せたおいしいお弁当と専大OBからご協賛いただいたお茶と共に、地元愛あふれる雰囲気味わわせていただきました。



↑ 楠田由佳支部長が挨拶



↑ 商学部国田教授によるミニ模擬授業



↑ ランチタイム



↑ 会場の一角に、箱根駅伝への応援メッセージを書き込めるコーナーを設置。各支部から寄せられたメッセージは職に仕立て、体育会陸上競技部へ届けることに

せっかくこういう会があるならと出席しました。講演は興味深い内容で、昼食時には先生方とも会話もできて、近寄りがたく感じていた先生や大学に、親しみを持つことができました。

経済学部1年女子の母
大久保幸代さん文学部1年女子の母
大房仁良さん

大学のことが何とわからないので参加しました。先生方の話を聞き、学生のことをしっかりと見てくれているのがわかって安心しました。模擬授業も体験でき、大学を身近に感じました。

埼玉支部

学生参加の特別プログラム、 神田校舎に歌声と学びが広がる



↑ ネットワーク情報学部長の飯田周作教授が大学を代表して挨拶



↑ 混声合唱団カッパコーラス部の合唱



↑ 就職活動報告。左から杉野さん、松本さん

9月6日（土）、神田キャンパスで開催された埼玉支部の支部懇談会には、85名のご父母・保護者が参加しました。大学からのお知らせや個人面談・グループ面談といった通常プログラムに加え、支部独自のプログラムとして、経済学部の恒木健太郎教授による特別講義「私の常識はあなたの非常識？～経済学史の存在根拠～」が行われました。

さらに、学生の協力で、混声合唱団カッパコーラス部による合唱や、杉野響さん（経営4）と松本潤佳さん（経営4）による就職活動の報告なども実施され、充実した内容となりました。

閉会後は、会場となった神田キャンパスの見学ツアーも実施され、希望者は学生の案内で図書館や法廷教室などを巡りました。

法学部1年生の父親は、「学校でのことを娘は家ではほとんど話さないの、少しでも大学の様子を知りたいと思って夫婦で参加しました。就活について学生から直接話を聞けたり、先生から成績表の見方をわかりやすく説明していただいたりして、とても有意義でした」と話していました。



↑ 経済学部恒木教授の特別講義



↑受付



↑ビデオ上映



↑学生の案内でキャンパスツアー



↑個別面談



↑グループ面談

他支部でやっていることを参考に、「これいい」と思うことをプログラムに組み入れました。1回参加したからもういいやでなく、参加した人がまた来年も来たいと感じていただければ嬉しいです。



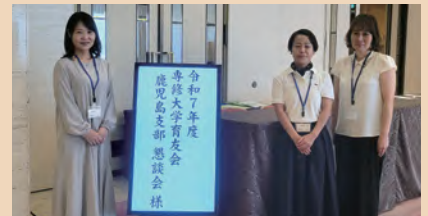
小原和実埼玉支部長

シブコン レポート

鹿児島支部



↑出張教職員、支部役員と一緒に



↑会場にて



↑会場の城山ホテル鹿児島からの光景

故郷の味が繋ぐ親子の絆

秋とは名ばかり、猛暑の9月7日（日）。鹿児島支部懇談会は、鹿児島のシンボル桜島を眼下に臨む「城山ホテル鹿児島」で開催されました。自然災害の影響が心配でしたが、当日は見渡す限りの青空の下、無事に迎えることができました。

たくさんのご父母・保護者の皆さまにご参加いただき、親元から離れて暮らす子供を心配する声を直接耳にし、育友会の存在意義を改めて実感しました。

文学部の植村教授と経済学部の奴田原教授から、学業・学校生活および就職についてお話をいただき、また、生成AIやブラック〇〇、△△ハラスメントなどの現代の問題や、私生活で困ったときの大学の支援体制についても説明があり、皆さま時おりうなずいたりメモを取ったり、とても熱心な様子が印象的でした。

昼食時には、いつも音沙汰がない、こちらから連絡

副会長
鈴木明日香



しても素っ気ないのに、鹿児島ならではの食材や調味料を送って欲しいときに連絡をくれる、という話題で盛り上がりました。何はともあれ、子供からの連絡は嬉しいものです。

個人面談は、お二人の先生が同席するという新しい取り組みでした。ブースを分けないことで、相談に対しそれぞれ先生の得意分野で回答ができ、先生方のお人柄も相まって当初面談希望のなかった方も急遽申し込むほど大変好評でした。

そしてなんと！今回参加されたほぼ全員の方が支部役員を引き受けて下さいました。来年の開催が待ち遠しいですね。鹿児島支部の皆さま、ありがとうございました！